

労災ホームヘルパー(A)養成研修が開催されます。

一般財団法人 労災サポートセンター

1 開催目的

労災ホームヘルプサービスを実施するため、労災被災者特有の障害であるじん肺、せき髄損傷等に係る床ずれ防止、じょく瘡及び排泄処置などの専門的介護に必要な知識、技能を修得するための労災ホームヘルパー養成研修（専門的サービス（サービス A）研修）を開催するものです。

労災ホームヘルパー養成研修の修了者には、「修了証書」と「身分証明書(携帯用)」が交付され、労災ホームヘルパーとして介護に従事することができます。

2 開催日時 平成30年12月3日(月) ～12月7日(金) (5日間)

(午前9時～午後5時。ただし、初日は9時30分開始)

3 開催場所 一般財団法人労災サポートセンター

熊本労災特別介護施設 (ケアプラザ宇土)

〒869-0407 熊本県宇土市松原町243

電話 0964-23-2211

4 受講資格等

- ・看護師、保健師等の資格を有している方
- ・厚生労働省の定めによる介護職員初任者研修課程以上を修了している方
- ・募集人員は20名です。

6 研修概要 カリキュラムは、33時間です。

研修は5日間連続で実施し、補講はありません。

研修会場には午前8時50分までに入室して下さい。

研修を途中で欠席された方には、修了証書の交付はできませんのでご注意願います。また、この場合、下記の交通費・宿泊費についても支給できませんので、ご承知おき下さい。

7 受講費用及び交通費等

- (1) 受講費は無料です。
- (2) 受講者には、交通費（財団の旅費規程による。）を支給するほか、宿泊を必要とする方には宿泊費(一泊につき5,000円を補助)を支給します。
- (3) 交通費は、自宅及び宿泊先の最寄りの駅から研修会場までのバス、電車等の往復の一般公共交通機関利用の運賃を支給します(タクシーを利用の場合、その費用は、自己負担となります)。
- (4) 宿泊を必要とする方は、各自でホテル等へご予約をお願いします。
- (5) 交通費等は、研修終了後、口座振り込みとなります。
- (6) 研修会場へは、JR 鹿児島本線「宇土」駅から徒歩約10分です。

なお、研修会場には研修用駐車スペースがありませんので、マイカー利用はご遠慮下さい。

10 申し込み方法

「受講申込書」に必要事項を記入の上、直接「一般財団法人労災サポートセンター」あて送付して下さい。お申し込みいただいた方には、後日受講資格を確認の上、「受講票」を送付します。

振込先金融機関、口座名義人、口座番号は間違いのないよう正確に記入して下さい。

1.1 申し込み期限 平成30年11月9日(金)まで

※期限に間に合わない場合には、下記担当あてに連絡して下さい。

1.2 問合せ先 〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-1-3 飛栄九段北ビル10階

一般財団法人労災サポートセンター 在宅介護課

電話 03-6834-2636 03-6834-2650

(担当； 敦澤 (つるさわ))

FAX 03-6834-2530

(お問い合わせの際は、電話番号をお間違えないようにお願いします。)

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお尋ね下さい。

労災ホームヘルパー（A）養成研修カリキュラム

講 義 項 目	時 間	講 師	備 考
1 オリエンテーション	0.5	労災サポートセンター	
2 労災保険制度 (1) 労災保険制度の概要 (2) 社会復帰促進等事業の概要等	3	労災サポートセンター	講義
3 介護保険制度 (1) 在宅介護に関する介護保険法等の制度概要	1	介護保険制度に 精通した者	講義
4 労災特有の障害に関する医学的知識 (1) せき髄損傷等 ①せき髄損傷者等の機能障害及び合併症 ②せき髄損傷等の発症及び症状の特徴 ③せき髄損傷者等における精神障害 ④リハビリテーション(障害の程度とその影響)(実技) ⑤労災重度障害者の介護者の腰痛(実技)	4	医師 (①～③3時間) (④～⑤1時間)	講義
(2) じん肺 ①じん肺患者の機能障害及び合併症 ②じん肺の発症及び症状の特徴 ③じん肺患者における精神障害	3	医師	講義
5 労災特有の障害を持つ者の心理 (1) 労災重度障害者の心理状況を踏まえた具体的対応 (2) 労災重度障害者の家庭における家族等との人間関係	2	看護師	講義
6 労災特有の障害に対する対処方法 (1) 呼吸困難時、去痰 (2) 安静時と労作時処置、呼吸法、ネブライザー、酸素吸入と酸素の取扱い	1	看護師	講義
7 介護技術(実技1) (1) 食事の介護 (2) 入浴の介護 (3) 衣服脱着の介護 (4) 外出時の労災重度障害者における移動の介護 (5) 身体の清拭及び皮膚の異常発見等	3	看護師 介護福祉士等	講義 (実技)
8 介護技術(実技2) (1) 労災重度障害者のADL (2) 各種介護機器の取扱い (3) 義肢等補装具の装着	2	看護師 理学・作業療法士 介護福祉士等	講義 (実技)
9 脊髄損傷者の介護(実習1) (1) 排泄の管理と対処と処置、自己導尿、カテーテル留置・集尿袋等及び手圧叩打、尿路感染防止の清潔操作、定期的排便(内服・浣腸等及び摘便) (2) 呼吸困難時及び排痰介助(3) 身体の皮膚の観察及び拘縮予防	3	看護師	実習
10 労災特有の障害者に対する処置(実習2) (1) 褥瘡予防との褥瘡処置の仕方 (2) せき損、けい損、片麻痺者の体位変換 (3) 高次脳機能障害者とのコミュニケーション	3	看護師	実習
11 生活動作の介護(実習3) (1) 食事の介護 (2) 入浴の介護 (3) 衣服脱着の介護 (4) 移動の介護(5) 清拭及び陥入爪の処置	4	看護師 介護福祉士	実習
12 介護機器の取扱い(実習4) (1) 在宅介護における各種介護機器の操作及び取扱い	2	理学療法士 作業療法士等	実習
13 グループ討議	1	看護師	講義
14 修了式	0.5	労災サポートセンター	
合計研修時間数	33		